

# ふくしま県人会だより

第38号  
平成30年8月  
福島県人会  
北海道連合会

## 福島県人会北海道連合会長

### あいさつ

福島県人会北海道連合会

会長 田中 四郎



平成三十年度の連合会総会は、去る五月二十六日千歳市のホテルグランテラス千歳に於いて福島県副知事鈴木正晃様、県議会議長吉田栄光様、北海道総合政策部長小野塚修一様、千歳市長山口幸太郎様、福島県川俣町長佐藤金正様、県民広聴室長野地義幸様のご御来賓を迎え、さらに道内各地の県人会から大勢の

役員会員の御参加もいただき盛大に開催されました。

開催担当の千歳福島県人会の皆様、御努力の御陰で総会・懇親会と全ての行事が無事終了いたしましたことに心より御礼を申し上げます。

式典の部で、別海町福島県人会会長白石政司様に知事の感謝状が贈られ、さらに連合会長の感謝状を授与された会員の皆様には改めて、御祝いを申し上げます。

翌日、地元紙の千歳民報社は、「ふるさと復興支援へ新たな一八年ぶり千歳で総会」という見出しの記事で紹介し報道してくれました。私は、昨年十月発行の県人会だよりに記載しました様に次の行事に参加いたしました。

まず、四月十七日から十九日まで、八年ぶり母県訪問旅行を実施いたしました。札幌福島県人会会員で旅行社を経営している五十嵐さんの御協力を得て、納得がいく費用で

内容の多い旅行行程で全員満足でありました。各県人会の皆様は次の旅行には是非参加してください。

五月十一日、函館福島県人会による傷心惨目碑の法要が函館市船見町の高龍寺で行われました。今年箱館戦争から百五十年、これに参加し参拝して参りました。

次に、六月十日、天皇后両陛下をお迎えして開催された第六十九回全国植樹祭が福島県南相馬市原町区零で行われ、私も参加してクロマツを植樹して参りました。

旅行の事に戻りますが、母県訪問の二日目は県庁を訪問し内堀知事を表敬いたしました。知事は、来県に感謝し、風評・風化の問題を解決するには正確な情報を国内外に伝えていかなければならないと述べられました。各県人会の会員の皆様には、福島県への御支援と情報発信に御協力をお願い申し上げます。

福島県は、震災の復興も進んでいて、道路網等のアクセス等は私の考えていた以上進んでいた事を今回の旅行で実感して来ました。会員の皆様方の福島への田舎も近くなり、行きやすくなっています。次回の旅行には必ず参加していただき、福島県へ支援をしましょう。それぞれの参加者から投稿があり記載の通りです。



【内堀知事表敬訪問の様子】

## 連合会の活動

### 第四十五回福島県人会北海道連合会総会が開催されました

会第四十六回福島県人会北海道連合会総会が、千歳市の「ホテルグランテラス千歳」で、五月二十六日（土）に開催されました。

鈴木福島県副知事をはじめとした多数の来賓をお迎えし、道内県人会から会員の皆様等、合計一〇二名が出席しました。総会では事業計画や予算が承認

され、今回の総会開催を旭川福島県人会が担当することが決定されました。

式典では、長年県人会の発展に寄与された皆様に、福島県知事、福島県人会北海道連合会長からの感謝状が贈られました。

懇親交流会では、御来賓の方々から御提供いただいた福島県産日本酒等を飲みながら、母県の思い出話に花を咲かせるとともに、副知事をはじめとした御来賓の方々や、会員同士の交流を深めました。また、カラオケ大会が催され、会員の皆さまが、自慢ののどを披露され、最後には、参加者全員で「ふるさと」を合唱して会場は大いに盛り上がりました。

### 【感謝状受賞者】

福島県知事

白石 政司 様 (別海町)

福島県人会北海道連合会長

富塚 富夫 様 (札幌)

阿久津 泰子 様 (美幌町)

森谷 芳美 様 (美幌町)

山口 良二 様 (千歳)

長瀬 公平 様 (千歳)

吉成 彰 様 (苫小牧)



【懇親交流会での「ふるさと」の合唱】



【知事感謝状を受賞される白石様】

## 会員通信

### 第四十六回福島県人会北海道連合会総会に参加して

美幌町福島県人会

幹事長 佐藤 登

今回の開催地は千歳市です。美幌グランドホテルに集合八時出発マイクロボス車中では幹事の阿久津泰子さんの進行で軽い体操で体を動かしたり、などなぞ、クイズ等で楽しみ、わきあいあいと時間を過ごしました。十二時五分頃目的地千歳市に着き昼食事を取ってホテルに入りました。

総会の席上美幌からは阿久津泰子さんと、森谷芳美さんが北海道連合会会長感謝状を授与されました。宴会では福島県の日本一美味しいお酒が振る舞われ、川俣町長さんと川俣町農業振興公社の笠間さんがあぶくま高原の地鶏の川俣軍鶏の料理を持参提供してくださいました。とても美味しく味わい深いおいしい肉質がたまらなく、二次会も会場を変えて、さらに盛り上がり親睦を深め、次回旭川県人会の再会を約束して夜は更けました。翌日ホテルを後に千歳のキリン

ビール工場を見学して、ここでもビールを頂き楽しみました。元気で長生きして県人会を盛り上げていこう。常に心掛けておる毎日です。千歳県人会の皆様お世話になりました。有り難うございました。



【美幌町福島県人会佐藤登さん】

### 知事の「おかえりなさい」の言葉に感激

函館福島県人会

会長 小山 直子

四月十七日から十九日にかけて、八年ぶりの母県訪問に参加させていただきました。私は函館から新幹線で参加のため、一日目の夜から合

流となりました。夜は、北海道事務所OBの皆さんとの懇親会で、事務所時代の楽しみや懐かしの出来事をお聞きして盛り上がりました。

二日目の知事訪問では、内堀知事に「おかえりなさい」という温かい言葉と握手で迎えていただきました。また、私たち一人一人の名前を覚えて声をかけていただいたことに感激し、みんなで涙ぐんでしまいました。「3・11以降、辛い時期も北海道県人会では積極的な桃の販売など、応援が心強く深く感謝いたします。」という言葉もいただきました。

その後、喜多方市で美味しい喜多方ラーメンを頂いた後、柳津町の円藏寺、昭和村のからむし織の里、大内宿を見学いたしました。今年は福島も春が早く桜の時期は済んでしまったというお話でしたが、中通りから会津にかけては美しい桜の花が私たちを迎えてくれました。福島県は桜の県なのかと思うほど桜の木が多く驚きました。大内宿では、茅葺屋根の古民家にまるでタイムスリップしたような気分になりました。

最後の日は、会津若松市の鶴ヶ城、飯盛山のさざえ堂と白虎隊のお墓、野口英世記念館を見学いたしました。鶴ヶ城も飯盛山の見学もボラン

ティアガイドさんがいて、大変分かりやすくガイドしていただきました。特に飯盛山のガイドさんは若い女性で、歴史がきちんと継承されていることに感心しました。さざえ堂の近くに戊辰戦争で亡くなった女性たちの碑がひっそりと建っています。八重たちの鶴ヶ城での激しい闘いは有名ですが、城に行つては食料も少ない中迷惑をかける、闘う力のない私たちは足手まといになると、自ら命を絶つた女性たちのもう一つの闘いの姿を偲んだ碑です。

大人になつてからは、ほとんど福島を訪れることのなかった私にとつては、福島島の自然と歴史、温かい人情に触れる感動の旅となりました。

母県訪問を企画していただいた、田中会長初め札幌県人会の皆さんに感謝し報告いたします。



【桜満開の鶴ヶ城】

### 全国植樹際に参加して

旭川福島県人会

会計部長 山口 正幸

六月十日（日）、南相馬市原町区雫（シドケ）の海岸防災林整備地で行われた「第六十九回全国植樹際ふくしま2018」に田中北海道連合会会長以下五名で参加しました。

私は、四十八年前に猪苗代地区で行われた「第二十一回全国植樹際」に船引町芦沢中学校代表で参加しており、昭和天皇、今上天皇と二代に亘って間直に拝見させていただきました。

くことができ、心から感謝を申し上げます。今回は、前日に田中会長以下各々指定された福島市内のホテルに集合し受付を済ませ、当日は朝七時に大型バスで出発して会場入りをしました。

同乗された方々は皆各県福島県人会の方々に、私は群馬県や愛知県の方々と懇意になることができました。

特に群馬の方は今回の植樹際会場付近にお住まいで津波によって自宅が流され、群馬県に避難された方で、バスの移動間、当時の悲惨な様子を聞くことができました。

生憎の小雨の中でしたが、午前中に我々の植樹とおもてなしコーナーで行われた各種イベント（高柴ひよつとこ踊り、ご当地アイドルショー、HAPPYふくしま隊、雫神楽など）見学、そしておもてなし弁当での昼食、午後からは式典が行われました。

天皇皇后両陛下が会場入りするや小雨も上がり、無事式典が終了しました。

美智子様は、雨で濡れた地面に直接跪かれ、素手で土を盛られ丁寧に植樹され、また、介添え役の子供たちにも親しく挨拶をされ、そんなお姿に会場約六千名の招待者は深く

感動を覚えました。

東北大震災で被災した県では初めて開催された今回の地元福島での植樹際は、関係各位の御努力と復興に対する熱い県民の思いで、とても素晴らしいものになったと思います。

植樹際に参加させていただいた者として、地元福島の一日も早い完全復興を願ってやみません。



【植樹際会場での集合写真】

## 苦小牧福島県人バンザイ !!

苦小牧福島県人会

会員 長谷川 孝子

平成二十七年八月、苦小牧福島県

人会の仲間入りをして満三年になります。

私は北海道と東京出身の両親から生まれ、福島県には縁がない者ですが、若い頃から日本史が好きで、いつか歴史のある街を旅してみたいと思っていました。保育士をしている長女が、全国研修会で会津若松市を訪れ、鶴ヶ城、飯盛山を観光したと話してくれました。「戊辰戦争の裏の事がよく解ってお母さんなら歴史的な背景を想いながら観ることができるよ。いつか是非訪ねてみては？」と勧めてくれました。それから数年が経ち、平成二十七年やつと福島県を訪れる機会がやって来ました。私は、三十年ほど前にうたごえサークルに入り、子供たちと一緒に楽しく歌っています。うたごえ出身の歌手の応援団総会がいわき市で開催され「これがチャンス！」と期待に胸を弾ませながら参加しました。

一泊二日をいわき市で過ごしたメンバーは全国へ帰って行きましたが、折角ここまで来たのだからと、私は一人旅をする事にしました。いわき市→郡山市→会津若松市と観光して、歴史の一部に触れることができました。

三泊四日の一人旅は、思った以上に充実していて、私自身の知識以上

の奥深い歴史の重みに圧倒され、時間とお金が許すなら、また訪れてみたいと思いつながら帰路につきました。

その直後、苦小牧港まつり会場で、県人会の皆さんが桃の販売をしていて、数日前に旅をしてきた話をした処「是非、県人会に入りませんか？」と勧められました。福島出身でもなく、血縁関係のない私が入会していいの？と戸惑っていたら「福島県が好きならそれで充分資格がありますよ！」と言ってくれたんです。その言葉に、即入会させていただきました。

それからの三年は、県人会の皆さんに温かく接してもらえて、私自身福島の人のように感じたり、県内のどここの出身というより県全体が私の故郷という思いで、情報は全て聞き逃さないようにしています。

毎年初夏に苦小牧の市民団体が主催する「イマジン・コンサート」は、震災復興支援として入場料の一部や、会場内に募金箱を設け、復興に役立ててもらっています。私も微力ながら、毎回受付の手伝いをしています。

先日、テレビで郡山市出身の西田敏行さんが、以前のNHKの大河ドラマで西郷隆盛を演じたことがあり、役を引き受けるのに大変な抵抗

があったそうです。でも、地元の仲間たちから西郷役なら許す！と許可をもらい、福島県人の心の広さと包容力の大きさに支えられて、年間演じられたと話していました。

私も、福島県人の皆さんの心の広さに感受している一人として、領けるものがあります。今後とも、その包容力に包まれ「福島大好きさん」として、楽しく活動に参加して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【連合会総会での集合写真】

# 県人会の活動

「傷心惨目碑前祭」を開催

函館福島県人会

事務局長 菅野 広道

箱館戦争で戦死した会津藩士を供養する「傷心惨目碑前祭」を今年も五月十一日（金）、高龍寺に於いて十四名が参列して行われました。札幌からは田中道連合会会長、県北海道事務所長の長谷川所長が出席されました。

永井正人住職が読経し、参列者が一人ずつ焼香し、箱館戦争で犠牲となった会津藩士を偲びました。

碑前祭は昭和五十五年から続けていますが、永井住職は「函館は歴史の蓄積がある街で、過去を覚えていて初めて未来へ進むことができ。忘れてはいけないことの一つが傷心惨目のエピソード。歴史をまた一年つないだことを嬉しく思う」と述べました。

その後、会員の郷土料理店・魚来亭で昼食会を開催し歓談しました。碑前祭の様子は翌日の地元紙でも報道されました。



【高龍寺境内にて会津藩士を偲ぶ】

## 函館福島県人会「観桜会」を開催

五月二日（水）午前十一時から五稜郭タワー内の「旬花」で観桜会を開催しました。

今年は建物内での観桜会となりましたが十一名が参加、おいしい料理に会長からは母県の銘酒の差し入れもあり花見気分を満喫しました。

# 新会員の紹介

美幌町県人会

大野 光子 様

浜中町県人会

伊藤 宜男 様

川口 正仁 様

佐川 忠 様

苫小牧県人会

吉田 清三 様（出身 富岡町）

吉田 香里 様（出身 富岡町）

## 福島県からのお知らせ

全国新酒鑑評会金賞受賞数

六年連続日本一に輝きました

独立行政法人酒類総合研究所が開催している平成二十九酒造年度「全国新酒鑑評会」において福島県から三十一銘柄が入賞、うち十九銘柄が金賞に選ばれ、金賞受賞数で全国一位となりました。

金賞受賞数で全国初の六年連続第一位、通算八度目の日本一となりました。福島県の酒造業者の高い技

術とたゆまぬ努力によって作り上げられた「ふくしまの酒」の品質が本年も高く評価されました。全国に誇れるおいしい福島県の日本酒を皆様も是非ご賞味ください。



福島県産ももPRイベント

「ふくしまプライド。ヨ 北海道」を開催しました

七月二十八日（土）に、札幌市内で福島県産もものPRイベントを開催し、島福島県副知事やミスピーチキャンペーンクルー（佐藤梨央さ

ん)が出荷の最盛期を迎えたものの美味しさをアピールしました。

会場ではももの試食を行い、「甘くておいしい」「ぜひ買ってみたい」といった嬉しい声が多く寄せられました。また、平成二十九酒造年度全国新酒鑑評会で金賞を受賞した「人気酒造」の試飲・販売や「札幌福島県人会」のご協力を得てももの販売を行い、多くの方がおいしい福島のお酒とももの買い求め、大変な賑わいをみせました。

そのほか、七月二十七日(金)から八月五日(日)にかけて、札幌市、旭川市及び函館市内のスーパーマーケット等延べ十五店舗で福島県産ももの店頭試食販売会を開催し、各店舗とも美味しい福島のももの買い求めるお客様で賑わいました。



【札幌にてトップセールスを行う副知事】



【ももをプレゼントするミススピーチ(佐藤梨央さん)】

## PR動画

### 「福島のももめしあがれ」2018

北海道の料理研究家坂下美樹さんが、福島県伊達市のもも生産農家を訪問し、生産地の状況、生産者の思いやその取り組み、ふくしまのももの魅力について取材しました。その動画をYouTubeに公開しましたので、ご覧ください。



【動画のQRコード】

## 新任職員紹介

福島県北海道事務所 主査

東海林 広尚(出身 国見町)



四月から北海道事務所勤務になりました。東海林(とうかいりん)と申します。妻(南会津出身)と、二歳になる息子、それから猫一匹と



【YouTubeの動画】

[http://www.youtube.com/watch?v=ict15\\_oadjO](http://www.youtube.com/watch?v=ict15_oadjO)

一緒に札幌に参りました。

四年程前に、一度は乗ってみたいと思っていた北斗星に乗って妻と福島駅から札幌、小樽まで来たことがありましたが、まさかこの北海道に住むことになるとはそのときは考えてもみませんでした。

三月までは危機管理部の消防保安課で、火災予防や、消防団入団支援の業務を行っていました。

冬の寒さに不安がありますが、せっかくなので、札幌からも足を伸ばして雄大な北海道の自然を観に行きたいと思っています。

県人会の方々とのご縁も活かしつつ、北海道の地で福島県産のおいしい農産物(桃など)や日本酒を少しでも広げていけたらいいなと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

